

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	果樹振興対策事業	会計名称	一般会計		担当課	農業振興課	
		予算科目	6 款 1 項 3 目	事業番号	2480	所属長名	池内伸至
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	新英二	
法令根拠等	愛媛県未来型果樹産地強化支援事業費補助金交付要綱等 伊予市未来型果樹産地強化支援事業費補助金交付要綱等				実施期間	【開始】	令和/平成 3 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					【終了】	令和 7 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業振興のための諸施策						
事業の対象	JAえひめ中央 (取組農業者)			事業の目的	愛媛県が実施する「未来型果樹産地強化支援事業」を活用し、県による採択を受けた、県が示す果樹農業振興計画に沿った取組を実施することで、果樹産地の基盤の強化を図る。(未来型樹園地とは、愛媛県果樹農業振興計画によると、「農地中間管理機構と連携して担い手への農地の集積を図りつつ、労働生産性の技術的な向上や高収益果実の大幅な生産拡大等を通じた、果樹農業の担い手のモデルとなる園地」とある。)		
事業の内容 (整備内容)	県が設定する事業メニューは、大きく①豪雨災害復興支援、②未来型果樹園づくり推進支援、③集出荷貯蔵施設高度化支援があり、このうち今年度は、事業実施主体からの要望に基づき、②のうち生産基盤強化のための整備 (雨よけハウス、かん水施設、果樹棚等) 及び③のうち商品力向上のための整備 (栗のくん蒸施設改修) を実施する。(くん蒸とは、薬剤を含んだ蒸気により、栗の果実内の幼虫や卵を死滅させる。)			昨年度の課題に対する具体的な改善策	事業の目的や内容等が見る側に伝わりやすい記載に努める。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	31,390	0	26,114	0	0	26,114	紅まどんな等事業計画 (実施) 面積	a	165.3	84.4	0	84.4
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	20,927	0	17,410	0	0	17,410	キイフルーツ事業計画 (実施) 面積	a	31.2	63.1	0	63.1
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	10,463	0	8,704	0	0	8,704						
職員の人工 (にんく) 数	0.15	0.19				0.00						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	32,566	1,481				26,114						
主な実施主体	JAえひめ中央		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
					32,000	32,000	32,000			96,000		
成果指標	指標	当該年度の実施面積/当該年度の計画面積×100			単位	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	7年度	
					%	目標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	長期計画のもと、当該年度に事業実施主体が計画する事業面積と、実施面積を比較することで事業効果を図る。			⇒	実績	100	100				
	指標で表せない効果	県の戦略品目である紅まどんな等の雨よけ栽培は、裂果予防に効果が高く、正品率の高まり=収益性の向上につながり、もって産地供給力の強化に大きく貢献するものである。なお、本事業による整備にあつては、苗木及び幼木の段階で整備する必要がある場合が多く、高品質生産の効果が現れるのは数年先となる。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		事業の目的や内容等が見る側に伝わりやすい記載に努める。ただし、用語の意味が分からないといった意見に対応するためには今の様式では足りない。現に印刷した際には枠からはみ出してしまふ。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	制度としては、継続中の県事業であることから、特に工夫した点はないが、産地として強い要望があった栗のくん蒸施設の改修については、最優先事項として、県へ要望、折衝を行った。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給により、農業者所得の向上を目的として産地強化を図る愛媛県の独自事業であり、本市農業振興に極めて高い効果のある事業であると認められるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
所属長の課題認識	所属長の課題認識	高品質・高収益化のため必要となるハウス、果樹棚、灌水施設等の導入については、市による上乗せ補助を行っており、周辺市町との均衡性を保っている。また他事業との併用により一定規模以上の優良品種の生産誘導による産地形成から有利販売も期待できること、併せて意欲のある農業者からの要望も多いことから、更なる支援強化を愛媛県にも要望してゆく必要がある。									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	